

当院で免疫抑制・化学療法を受けられている患者様・ご家族のみなさまへ

「免疫抑制・化学療法に伴うB型肝炎ウイルスの再活性化の観察研究」

についてのご協力のお願い

今回、京都第一赤十字病院検査部では免疫抑制・化学療法に伴う B 型肝炎ウイルス（HBV）の再活性化に関する臨床経過について検討する研究を実施します。そのため、免疫抑制・化学療法を受けられている方の診療記録を過去にさかのぼって調査させていただきたいと考えています。

研究の目的

免疫抑制・化学療法に伴う B 型肝炎ウイルスの再活性化は、急性肝炎に比べると重症化しやすいことが知られています。そのため B 型肝炎ウイルスの再活性化を未然に防ぐことが重要だといわれています。B 型肝炎ウイルスの再活性化に関する報告は多数ありますが、免疫抑制・化学療法の種類によってその頻度は異なります。今回、我々は当院での症例を集積して、B 型肝炎ウイルスの再活性化についての臨床経過を検討する研究を行うことにしました。

研究の方法

対象となる方について

2014 年 6 月 1 日から 2018 年 2 月 28 日までの間に、京都第一赤十字病院で免疫抑制・化学療法を受ける際に、B 型肝炎ウイルス核酸定量検査を実施された方

研究の方法

過去の B 型肝炎ウイルス核酸定量検査の結果から B 型肝炎ウイルスが再増殖している症例の基礎疾患や使用薬剤、その後の経過を分析します。

個人情報の取り扱いについて

情報はすべて匿名化されており、個人が特定されることはありません。研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません。ご自分、あるいはご家族の情報を本研究に登録したくない場合は、下記連絡先までご連絡ください。

連絡先

京都第一赤十字病院 検査部
電話 075-561-1121（代表）
氏名 那佐 萌 白井 洋紀